

事業番号

2023 - 府 - 22 - 0147

令和5年度行政事業レビューシート

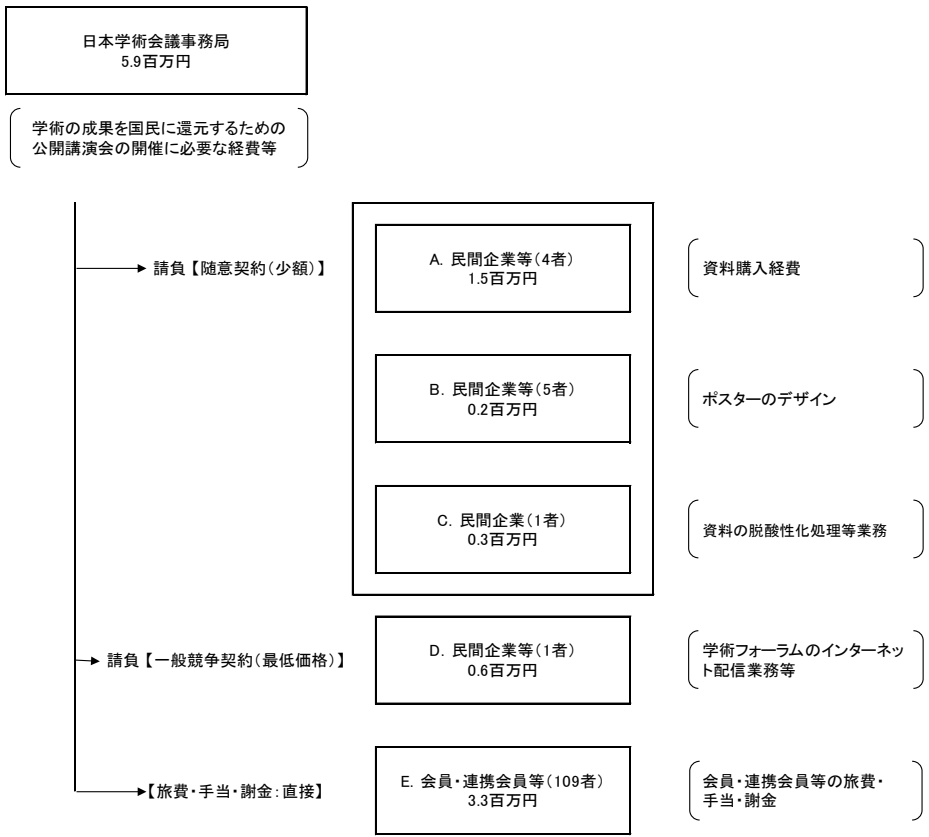
(内閣府)

事業名	科学の役割についての普及・啓発			担当部局庁	日本学術会議	作成責任者	
事業開始年度	昭和61年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	企画課	上村 秀紀 課長	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	日本学術会議法第2条			関係する 計画、通知等	-		
政策	26. 日本学術会議			主要経費	その他の事項経費		
施策	29. 日本学術会議に関する施策の推進						
政策体系・評価書URL	https://www8.cao.go.jp/hvouka/h29hvouka/h29iigo/h29iigo-24.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	日本学術会議法第2条に基づき、我が国の科学者の内外に対する代表機関(全国約87万人の科学者の代表として選出された会員210名と連携会員約2,000名で構成)として、学術フォーラムを通じ、科学の役割について国民の認識を高めることで科学の向上発達を図り、行政、産業及び国民生活に科学を反映浸透させる。						
現状・課題 (5行程度以内)	学術フォーラムについては、新型コロナウイルス感染症対策から、オンラインまたは会場とオンライン併用での開催としているが、会場のみでの開催時に比べ参加者数は増加しているものの、近年は減少傾向にある。国民の関心の高い問題を中心にテーマを設定し、双方向のコミュニケーションの充実に務める。						
事業概要 (5行程度以内)	科学的・学術的な成果を国民に還元するための活動として、学術フォーラムを開催している。学術フォーラムは、日本学術会議会員等が講演、パネルディスカッション等を行い、科学の成果を国民に分かりやすく伝えるとともに、国民と双方向のやり取りがなされるよう構成した公開講演会である。また、科学の役割についての普及・啓発等のために図書館を設けているが、この図書館は、国立国会図書館法の規定により国会図書館の支部図書館として指定されており、各所属機関の特色に応じた資料を所蔵する専門的な図書館となることを求められているため、関連書籍の収集を行っている。						
事業概要URL	学術フォーラム開催報告掲載サイト https://www.scj.go.jp/ja/event/index.html						
実施方法	直接実施						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	5.8	5.6	6.5	6.3	-
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
	予備費等(E)	-	-	-	-	-	
計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	5.8	5.6	6.5	6.3	-		
執行額(G)	6.1	5	5.9				
執行率(%) =(G)/(F)	105%	89%	91%				
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	105%	89%	91%				
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	日本学術会議			事項要求		
	(目)	庁費	2.1				
	(目)	国会図書館支部庁費	1.9	-			
	(目)	会員手当	0.7	-			
	(目)	委員等旅費	0.6	-			
	(目)	委員手当	0.5	-			
	その他	0.5	-				

		計(A)	6.3	-					
活動内容① (アクティビティ)	国民に対し学術フォーラムを開催している。								
↓									
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	国民に対し学術フォーラムを年間15回開催する。	日本学術会議主催学術フォーラム等の開催回数	活動実績	回	11	13	13	-	-
			当初見込み	回	10	10	15	15	-
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	学術フォーラムの参加者数が増加することにより、科学の役割について国民の認識を高め科学の向上発達を図り、行政、産業及び国民生活に科学を反映浸透させることに繋がるため、参加者数を長期アウトカムとして設定した。							
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
			成果実績	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
成果目標及び成果実績①-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度	
			成果実績	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績									
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5 年度	
	令和5年度に目標値300名を達成する。	学術フォーラムの参加者数(1回当たり平均値)	成果実績	名	408	320	177	-	
			目標値	名	150	230	300	300	
			達成度	%	272	139.1	59	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績									
各回の学術フォーラムの参加者数より(目標値は過去数年の実績から決定)									
アウトカム設定についての説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
学術フォーラムは、科学の役割について国民の認識を高めることで科学の向上発達を図り、行政、産業及び国民生活に科学を反映浸透させることを目的として実施しており、参加者数とその指標となるため。									

令和3年度	2021	府	20	0153														
令和4年度	2022	府	21	0157														

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載												チェック	
--------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	------	--

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社三省堂書店	7010001016830	資料の購入経費	0.6	随意契約(少額)	-	-	
2	株式会社ぎょうせい	1010001100425	資料の購入経費	0.4	随意契約(少額)	-	-	
3	株式会社OCS	5010401006994	資料の購入経費	0.4	随意契約(少額)	-	-	
4	公益財団法人日本学術協力財団	6010405000927	資料の購入経費	0.1	随意契約(少額)	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社opportune design	8011001105515	学術フォーラムのポスターデザイン作成業務	0.1	随意契約(少額)	-	-	
2	株式会社アネスタ	2010001095144	"	0.1	随意契約(少額)	-	-	
3	デザインオフィス フィールド	-	"	0.1	随意契約(少額)	-	-	
4	aibond	-	"	0	随意契約(少額)	-	-	
5	クボタデザインオフィス	-	"	0	随意契約(少額)	-	-	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	キハラ株式会社	4010001014829	図書館所蔵資料の脱酸性化処理等業務	0.3	随意契約(少額)	-	-	

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社マックスサポート	9011101025819	学術フォーラム(オンライン開催)の運営業務	0.6	一般競争契約(最低価格)	17	-	予定価格が類推されるおそれがあるため、落札率は記載しない。

E

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	旅費・手当	0.1	その他	-	-	
2	個人B	-	"	0.1	その他	-	-	
3	個人C	-	旅費・謝金	0.1	その他	-	-	
4	個人D	-	旅費・手当	0.1	その他	-	-	
5	個人E	-	"	0.1	その他	-	-	
6	個人F	-	"	0.1	その他	-	-	
7	個人G	-	"	0.1	その他	-	-	
8	個人H	-	"	0.1	その他	-	-	
9	個人I	-	手当	0.1	その他	-	-	
10	個人J	-	旅費・手当	0.1	その他	-	-	